

肥満症について

- 肥満は病気ではありません。しかし、肥満が進むと肥満に伴う健康障害が現れ、治療が必要になります。この状態を肥満症と呼びます。日本肥満学会では、以下の11の肥満に伴う健康障害のうち、1つ以上の健康障害を有する場合に、肥満症と呼び、治療が必要であるとしています。肥満患者さんは、このような多くの健康障害を合併している可能性があり、当院の肥満外来では、これらの健康障害のスクリーニング検査を行い、健康障害のピックアップに力を注ぎ、合併していた場合には、その健康障害の治療を行っています。

- 耐糖能障害(糖尿病)
- 脂質異常症
- 高血圧
- 高尿酸血症・痛風
- 冠動脈疾患
- 脳梗塞
- 脂肪肝
- 月経異常及び妊娠合併症
- 睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- 整形外科的疾患
- 肥満関連腎臓病